

平成29年2月15日
生徒指導支援室

第18回 「小・中・高校生の未来を考える集会」開催報告

- 1 日 時 平成29年1月28日(土) 13:00~16:05
- 2 会 場 奈良県立教育研究所(2階 大講座室)
- 3 主 催 奈良県小・中・高生徒指導連絡会
- 4 共 催 奈良県、奈良県教育委員会、奈良県警察
- 5 参加者 県内小・中・高等学校及び特別支援学校等の教職員、保護者、関係機関の
関係者等 約250名
- 6 日 程
13:00 ~13:40 開会行事、表彰式
13:40 ~14:00 実践報告
14:00 ~14:20 寸劇
14:35 ~15:55 講演
15:55 ~16:05 閉会行事

○ 標語及びポスター入賞者の表彰式

本集会の取組の一環として、「いのちを輝かそう ~いじめについて考えよう~」というテーマで、ポスター及び標語を県内の小・中・高等学校及び特別支援学校等に在籍する児童生徒から募集し、入選者について、本集会の中で表彰が行われた。

最優秀賞に選ばれた、奈良市立辰市小学校4年 植田集(うえだ つどい)さんの作品(標語)と奈良市立京西中学校3年 古家花恋(ふるいえ かれん)さんの作品(ポスター)を組み合わせたポスターが、今後、県内の小・中・高等学校等や関係機関に掲示される。



〈完成したポスター〉



〈荒木教育次長より古家さんに賞状の授与〉



〈標語作成の意図を語る植田さん〉

○ 実践報告「子ども同士をつなぐ学級づくり」

(大和郡山市立郡山西小学校 池島 章之 教諭)

同校では「学ぼう 遊ぼう つながろう友だちと」を学校教育スローガンに掲げ、「生徒指導の三機能『教師が子どもとどう関わるか』と「ピア（仲間）・メディエーション（調停、仲裁）『子ども同士がどう関わるか』」の考え方を取り入れて、日々の教育活動を推進している。このことにより、子どもの発言が増え、子ども同士で話し合おうとする場面も多く見られるようになった。また、子どもと教師の信頼関係がより深まり、子ども、教師ともに互いを尊重する態度が一層培われたことを語られた。

○ 寸劇「インターネット利用に係る少年の犯罪被害等の防止について」

(奈良県警察本部生活安全部少年課少年サポートセンター)

児童ポルノ事犯の「自画撮り被害」が県内外で増加している。

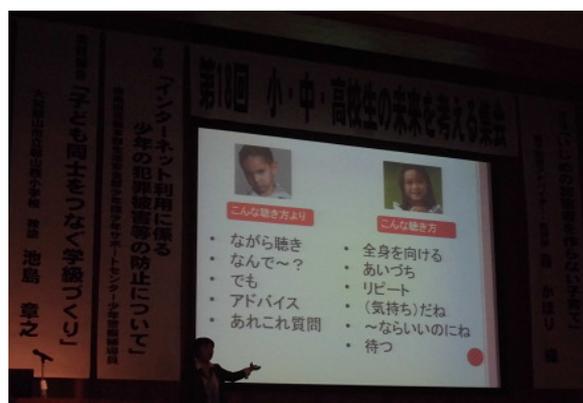
今回の寸劇を通して、子ども自らが危険を予測し、危険を回避して、安全な行動をとることができるための認識が深められるよう指導することの必要性を共有できた。また、学校、保護者及び地域等が子どもを守るために、子どもとしっかり向き合うことの大切さを考える機会となった。

○ 講演「いじめの加害者を作らない子育て」

(講師：親子関係アドバイザー・翻訳家 森 かほり 氏)



〈森氏による講演〉



〈講演のパワーポイントデータより〉

「いじめの加害者を作らない」「いじめの加害者にしない」という視点から、子どもの自己肯定感を高めるための親子関係の作り方や子どもへの接し方について、自身の経験や実践をおりませながら話された。